

片庭市政 の基本

任期満了に伴う、つくばみらい市長選挙に初当選し、つくばみらい市長に就任した片庭市長。旧伊奈町と旧谷和原村が合併して4年が経過し、市の発展のため、片庭市長は強いリーダーシップを発揮します。

今月は、就任直後の片庭市長の市政運営の考え方やまちづくりについての思いを掲載します。

片庭新市長の思い

片庭市政のスタートに当たっての決意

—まず、今回多くの市民の皆さんからご支援いただきましたことに、厚く御礼申し上げます。また、市民の皆さんから大きな期待をいただき、それに早く応えていくためにも、自分自身、責任を持ってしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

市政運営の基本的な考え方

—私の目指す市政とは、開かれた行政とすることです。職員や市民の皆さんが自由に活発に発言でき、行動ができるガラス張りの行政としていきたいと考えています。そのため、まず、市役所内のすべての課を回り、実情の把握を行います。現在進めている事業を全部洗い直してみたいと思っています。改めなくてはならないものはいち早く改

めてまいります。また、市民の皆さんとの懇談会も積極的に開催していきたいと思っています。今回、選挙活動を通じ、市民の皆さんから多くのご意見をいただき、たくさんの発想が浮かんできました。たくさんの方からの意見を聞けば、たくさんの発想が浮かんできます。その発想を、行政に取り入れることで、市民の皆さんが主役の行政としていきたいと考えています。

今後のまちづくりの方向性

—つくばみらい市は、東京から40キロ圏内にあり、常磐自動車道やつくばエクスプレスといった、交通網に恵まれた立地であります。このようなすばらしい立地条件であることから、これからのまちづくりには非常にやりがいを感じ、将来への大きな展望が描けます。しかし、私たちの子どもや孫に負担をかける

ようなことは、絶対にしてはならないという強い思いもあり、慎重に取り組んでいかなければならないとも思っています。将来、こういうものを残してもらえてよかったと思ってもらえるようなまちづくりをしていきたい。そのためにも、市民の皆さんから多くの意見をいただき、行政に取り入れていきたいです。

座右の銘「百術不如一誠」（百術ハ一誠ニシカス）について

—この言葉は、私の人生の生き方を表しています。「百の手練手管もひとつの誠心誠意には勝てない」。小手先の術を磨くのではなく、愚直でも誠心誠意、向きあうということを意味しております。私は、市民の皆さんと誠心誠意、向きあい、ひとつのことをまじめに取り組んでいきたいと考えております。

市民の皆さんへのメッセージ

—市民の皆さんにとって、より住みやすいまちになるよう、また、後世に誇れるようなまちにするため、誠心誠意取り組んでまいります。市民の皆さんの話を聞き、一緒に考え、そして一丸となつてつくばみらい市を創っていきましょう。